

<b>Title</b>	第 16 回 FD 研究会報告：本学の学修成果保証スキーム・教学 IR の現状と課題(1)：教員・学生調査・教育実践評価から考える
<b>Author</b>	
<b>Citation</b>	大阪市立大学大学教育. 16 巻 2 号, p.53.
<b>Issue Date</b>	2019-04
<b>ISSN</b>	1349-2152
<b>Type</b>	Presentation
<b>Textversion</b>	Publisher
<b>Publisher</b>	大阪市立大学大学教育研究センター
<b>Description</b>	第 16 回 FD 研究会報告(2018 年 11 月 1 日開催)：「本学の学修成果保証スキーム・教学 IR の現状と課題(1)：教員・学生調査・教育実践評価から考える」
<b>DOI</b>	

Placed on: Osaka City University

## 第16回FD研究会報告

### 本学の学修成果保証スキーム・教学IRの現状と課題①

#### －教員・学生調査・教育実践評価から考える－

学修について知る事（評価すること）は効果的な教育を実現していく上で重要である。全国的には「内部質保証」と呼ばれる、学修・教育の設計と評価に基づく改善システムの構築が求められており、大阪市立大学でもDP・CP・APの3ポリシーの作成が行われたり、学生・院生や教員へのアンケート調査や成績評価結果を使った学修実態の評価の試みなどが行われたりしてきた。第16回FD研究会では、全学および各部局での、学修成果・教育成果を把握するための試みの報告をもとに、大阪市立大学教育改善・FD宣言にある「本学の学生に真に学ばせるための教育改善」について議論を行いたいと考え、下記のような企画を実施した。

日時：2018年11月1日（木）13時30分～16時10分（受付開始：午後1時）

場所：大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター 10階会議室

報告等：

「教育・FDに関する教員意識調査結果と教育実践事例WEBデータベースの紹介」

（大学教育研究センター 飯吉弘子教授  
学修支援推進室 佐々木洋子特任助教）

「学士課程学生調査からみる本学学生の学修－2016年度上級生調査を中心に」

（大学教育研究センター 西垣順子准教授）

「英語教育における学修成果の評価と認識－自律的言語学習者・自律的言語使用者の育成を目指して－」

（英語教育開発センター 田中一彦教授）

「所属部局の成績データ（2014－2010）を分析して見えてきたもの」

（生活科学研究科 永村一雄教授）

「全体討論」

司会：水野寿朗（理学研究科）・大久保敦（大学教育研究センター）

共催：全学共通教育教務委員会，AP事業プロジェクト推進委員会

全体企画：西垣順子

